

糸島市のコミュニティ・スクール

～参画と協働による教育の実現～

糸島市教育委員会



社会や地域の態様が大きく変化している現在、人々のつながりや支え合いが希薄化することは、子どもの規範意識や社会性の育ちにも影響を与えます。

子どもや地域が抱える課題を解決し、人々の心の拠り所となる学校づくり・地域づくりを進めるために、糸島市では市内全小中学校でコミュニティ・スクールを推進しています。

Q2



コミュニティ・スクールでは何を指すのですか？

A2

コミュニティ・スクールの推進は、学校に対する支援強化だけに留まりません。学校・家庭・地域といった三者による学校づくり・地域づくりが重要です。

具体的には、次の「地域とともにある学校づくり」と「学校とともにある地域づくり」と言えます。

地域とともにある
学校づくり

地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって地域の子どもたちを育てていくこと

学校とともにある
地域づくり

学校と連携・協働の取組を通じて、子どもたちに地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材の育成を図り、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図っていくこと

よい「地域づくり」をしていくことが、子どもたちの育ちや「学校づくり」につながり、逆に「学校づくり」に保護者や地域住民が関わることは、子どもだけでなく、大人自身の育ちや「地域づくり」にもつながります。「学校づくり」と「地域づくり」をつなぐには、新学習指導要領で理念として掲げている「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校内だけではなく保護者や地域の人々等を巻き込んだ「カリキュラム・マネジメント」の確立が重要です。「地域とともにある学校づくり」と「学校とともにある地域づくり」は両輪であり、この両輪をつなぐ「軸」になるのが、「社会に開かれた教育課程」といえます。「社会に開かれた教育課程」の実現のために、次の2つの共有が重要です。

学校づくり

社会に開かれた
教育課程

地域づくり

- ①教育目標やその実現に向けた教育課程の編成方針
- ②地域住民や保護者などから学校の教育活動の成果や課題を聴き取り、次年度以降の改善の参考にする

このような取組を実施している学校や地域から次のような成果が報告されています。

地域みんなで子どもを見守ることで、安全で安心なまちづくりが推進されるとともに、世代を超えた絆が深まり、地域力が強くなっています。

住民がボランティアの場として足を運ぶことで、生涯学習や市民参画の体験の場としても学校が役立っています。

特に中学生が地域の一員として地域づくりに関わる姿を見て、学校への期待や信頼が高まっています。わたしも子どもたちの役に立てることがあり、やる気が高まっています。



このことから、子ども、保護者、地域の人々、学校の教職員それぞれにとって魅力のある取組と成り得ます。

Q1



コミュニティ・スクールとは何ですか？

A1

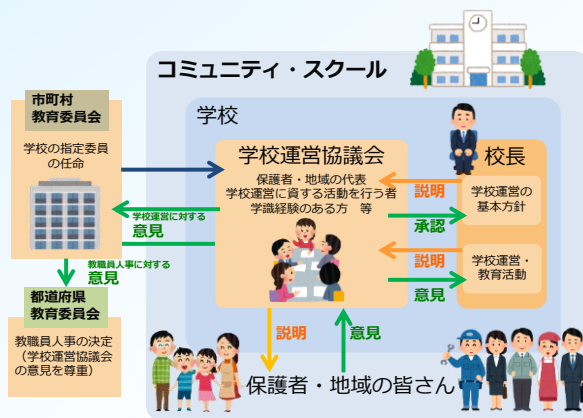
コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことです。学校運営協議会は、合議組織であり、法の規定に基づいて学校運営に関する一定の権限が与えられ、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させる仕組みです。

学校運営協議会の主な役割

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を置く学校を指定

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を出すことができること



Q3



コミュニティ・スクールの取組を学校・家庭・地域で充実させていくためにどのようなことが大切なのでしょうか？

A3 コミュニティ・スクールの取組を充実させるため、「熟議」を通して学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、相互に「協働」し、それらを「マネジメント」することが大切です。

協働

「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが大切です。

「地域で」「地域のことを」「地域の人と」学ぶ取組
取組名 地域とふれあう日
 深江小学校



子どもの学習習慣の定着と学ぶ意欲を高める取組
取組名 学力アップ宿題教室
 可也小学校



地域への参画意識を高める取組
取組名 中学生地域貢献活動「子ども食堂ボランティア」
 前原東中学校



地域への愛着を深める取組
取組名 小学生地域貢献活動「ながいとジュニア観光ガイド」
 長糸小学校



学校と地域住民が一体となり防災意識を高める取組
取組名 二丈中校区一斉避難訓練
 二丈中学校



マネジメント

目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく力が必要です。

熟議

熟議

多くの当事者(保護者、教職員、地域住民等)による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことを言います。地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有します。

Plan

第1回 学校運営協議会 > 取組期間の確認
 第2回 学校運営協議会(合同委員会) > 各担当(チーム)による取組の発案

Do

学習チーム	生活安全チーム	健康体力環境 チーム	学校または 学校運営協議会
家庭読書カード ※10/1~10/28	早寝早起き朝ご飯 ※9/4~9/10 ノーゲームノーテレビ ※9月~11月の 10・20・30日	あいさつ運動 ※10/15~10/21	いじめ撲滅月間 ※10月 わたしの1メッセージ ※9~10月

第3回 学校運営協議会 > 各担当による進捗状況の確認

Check Action

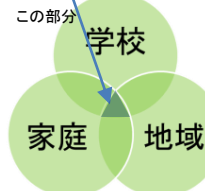
※11月上旬 全取組シート冊子の回収・担当委員会による結果分析
 第4回 学校運営協議会(合同委員会) > 各チームの取組の反省
 第5回 学校運営協議会 > 取組全体の総括

取組の実際

参加者：学校運営協議会委員、教員、区長、中学校教員、地域見守り隊など 合計54名

グループワーク

- 子どもたちに取り組みせたい内容の付箋紙への書き出し。
- 付箋紙をベン図で分類・整理。三者連携で取り組み可能なものをグループ内協議。



全体での協議・共有

・三者連携の柱となる取組のものを全体で協議

↓
来年度実現化へ

ポイント

熟議をする際、学校運営協議会委員だけではなく、より多くの地域住民や保護者、教職員が参加するようにすると議論も活発になります。